

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業効果検証シート
(R4年度事業分)

		担当課	商工課・観光課				
交付対象事業名	地域経営・エリアマネジメントにより稼ぎ・発展する地域づくり事業	R4 事業費 (円)	計画額	9,700,000			
総合戦略の位置付け	基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大		実績額	9,610,260			
事業実施期間	令和4年度～令和6年度		交付額	4,805,130			
事業概要	<p>①リノベーションによるまちづくり事業 民間主導によるまちづくり、地域づくりの発想を持ち、地域の課題を解決するビジネスを始める起業希望者と、遊休不動産の所有者をマッチングし、民間事業の力で、暮らしのコンテンツを充実させ、まちの魅力を向上させていく「リノベーションまちづくり(今ある資産を有効活用しまちを再生する手法)」の取組を推進する。</p> <p>②特産品創出事業 地場産の野菜や酒米等に注目し新しい商品の開発、販路の拡大等について、その道で活躍するプロフェッショナル人材を招聘し、やる気のある市内事業者を中心に特産品づくりに必要な要素をスクール形式の講座により、総合的にプロデュースし、開発した商品については、ECサイト等での販売や、ふるさと納税の返礼品として取り扱うなど意欲的なチャレンジに結びつける。</p>						
活動内容	<p>①リノベーションまちづくり事業 ・まちづくり講演会 ・まちづくりワークショップの開催</p> <p>②特産品創出事業 ・特産品づくりスクール ・テストマーケティング ・ECサイトでの販売 ・ふるさと納税の返礼品</p>						
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり講演会 2回開催(参加者総数100名) ・まちづくりワークショップ 全5回 ・特産品づくりスクール(スクール6回、試食会1回) ・テストマーケティング(交通会館マルシェ(東京・有楽町)へ出店) ・ECサイトでの販売(ANAふるさと納税サイトに特設ページを設置) ・ふるさと納税の返礼品(開発商品全品を返礼品に登録) 						
重要業績評価指標(KPI)	指標(単位)	開始前(R3)	R4	R5	R6		
		目標値	0	5	10	15	
	特産品の開発数(件)	実績値	0	10			
		魅力的な特産品が増えたと感じる市民の割合(%)	目標値	0	5	10	15
	遊休不動産の利活用件数(件)	実績値	0	16			
	市街地内の遊休空間を活用した社会実験・イベントの実施件数(件)	目標値	0	0	1	2	
実績値		0	0				
取組の検証	事業効果	②地方創生に相当程度効果があった					
	課題・改善点	組織の横断的な取組として事業を組立て、リノベーションまちづくりについては、ワークショップに地元の大間々高校の生徒を加えるなど新たな取組を行った。また、特産品創出事業については、事業スケジュールが短期間であったため、参加事業者への負担が生じてしまった。令和5年度は、商品開発に時間を設けられるよう、早期に事業へ着手し対応を行う。					
今後の事業展開の方針	<p>①事業の継続(計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))</p> <p>交付金を活用した3か年事業であるが、地域づくりは時間を要するため、企業版ふるさと納税の獲得を目指し、事業の延長を視野に入れ事業を軌道に乗せたいと考えます。</p>						

<事業効果>

①地方創生に非常に効果的であった

②地方創生に相当程度効果があった

③地方創生に効果があった

④地方創生に対して効果がなかった

例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合

例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合

例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合

例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場

<今後の方針>

①事業の継続(計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))

②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる)

③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))

④事業の縮小

⑤事業の中止(継続的な事業実施を予定したが中止する(または、した))

⑥事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))